



## The History of Yoshino Motors

# 1963 ▶ 2010





## 生まれは、運送会社でした。

昭和38年、設立したばかりのヨシノ自動車。経営の柱は運送事業でした。東京オリンピックに向けて盛り上がる建築業界の声に応え、鉄鋼製品を運ぶトラックを次から次へと購入。何年か走って古くなったトラックは自社の修理工場で丁寧に修理し、求めてくれる方にお譲りしていました。これが、現在の経営の柱、中古車販売事業につながっています。もともとが運送会社から始まった会社ですから、今もお客様の気持ちがよくわかるのです。

# 1963





## 日本初の会、結成。

仕事仲間か飲み仲間か、日野自動車の社長と出会った創業社長。下取りしたトラックの再販処分を引き受けることになりました。しかし権利を独り占めしたりはせず、仲間に声をかけ、日本でも初めてのトラック販売協力会を誕生させたのです。この形はその後三菱やいすゞにも模倣されていきました。ちなみに、今も継続する販売協力会はそのときつくられた私たちの会だけ。長続きの秘訣は仕事以外のコミュニケーションにあるのかもしれませんが。

# 1971





## 逆境で生んだ新事業。

昭和59年。業界の競争が激化し、中古トラックの仕入れ難が訪れます。「市場にないなら、自分たちでつくろう」。新車でトラックを買い、必要としている方にお貸しする。古くなってきたらきれいに修理し、中古車として販売。逆境の中、こうして新規事業、中古トラックレンタルが立ち上がったのです。仕入れ難を解決すると同時に、自社でトラックを購入できない規模のお客様とのお取引も始まり、ヨシノ自動車の幅がグンと広がりました。

# 1984





## 時代の風を掴む。

平成15年。ディーゼルトラックに対しての大規模な排ガス規制が発表され、急激な買い替え需要が大量に発生。あまりの数に正規メーカーが対応しきれず、市場にはお客様が溢れている状態でした。中古トラックだけでなく、ボルボの正規代理店として新車も扱うなど、新しい事業ドメインを常に広げていたヨシノ自動車に好機が巡ってきます。溢れた需要を一手に引き受け、この年伸ばした売り上げはなんと20億。お客様の様々なニーズに応えようとしてきた姿勢が、強い時代の風を捉えたのです。

# 2003





## 新しい道をつくっていきます。

平成22年、ヨシノ自動車は、業界でも珍しい取り組みをはじめました。『共走プロジェクト』。販売会社、運送会社、一人ひとりのドライバーが信頼関係のもとに結びつき、知恵を出し合い、利益を分け合いながら共に走っていけるあり方を見つけていこうという試みです。市場は変化していても、物流機能は世の中のインフラ、絶対になくなりません。情報化時代の新しい物流のあり方に、どう対応していくのか、「共走」の考え方に賛同してくださる皆さんと共に、トラック業界の新しい道をさぐっていきたいと考えています。

# 2010